

船橋市教育委員会会議 8 月定例会会議録

1. 日 時 平成 24 年 8 月 22 日 (水)
開 会 午後 3 時 00 分
閉 会 午後 4 時 30 分

2. 場 所 教育委員室

3. 出席委員

委 員 長	中 原 美 恵
委員長職務代理者	篠 田 好 造
委 員	山 本 雅 章
委 員	石 坂 展 代
教 育 長	石 毛 成 昌

4. 出席職員

管理部長	石 井 雅 雄
学校教育部長	松 田 重 人
生涯学習部長	高 橋 忠 彦
管理部参事兼教育総務課長	二 通 健 司
学校教育部参事兼学務課長	藤 澤 一 博
生涯学習部参事兼社会教育課長	小 川 佳 之
生涯学習部参事兼中央図書館長	鈴 木 隆
財務課長	泉 對 弘 志
施設課長	小 川 良 平
指導課長	鈴 木 正 伸
総合教育センター所長	山 本 稔
保健体育課長	岩 村 彰 喜
文化課長	武 藤 三 恵 子
青少年課長	中 村 義 雄
生涯スポーツ課長	加 納 誠 一
施設課長補佐	榎 本 登

5. 議 題

第 1 前回会議録の承認

第 2 議決事項

議案第 47 号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

議案第 48 号 船橋市立船橋小学校・船橋放課後ルーム改築工事請負契約の締結について

議案第 49 号 船橋市立三咲小学校校舎増築工事請負契約の締結について

議案第 50 号 船橋市西図書館整備基金条例について

議案第 51 号 平成 24 年度船橋市一般会計補正予算（教育に関する事務に係る部分）について

第 3 報告事項

(1) 平成 24 年度全国高等学校総合体育大会等の結果報告について

(2) 平成 24 年度市・県・関東中学校体育大会の結果報告について

(3) 中央図書館入居施設（ライブ 2000）大規模修繕工事について

(4) 青少年キャンプ事業実施報告について

(5) その他

6. 議事の内容

【委員長】

それでは、定刻になりましたので、ただいまから教育委員会会議8月定例会を開会いたします。
はじめに、会議録の承認についてお諮りいたします。

7月20日に開催いたしました教育委員会会議7月定例会の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございますが、よろしければ承認したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めますので、当該会議録について承認いたします。

それでは、本日の議事に入ります。

議案第48号から議案第51号までについては、船橋市教育委員会会議規則第14条第1項第4号の「市長又は議会に対する意見の申出及び市長その他の関係機関との協議等を必要とする事項」に該当しますので、非公開としたいと思います。

この点につきましてご異議ございませんでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めますので、当該議案を非公開といたします。

それでは議事に入ります。

はじめに、議案第47号について、教育総務課、説明願います。

【教育総務課長】

議案第47号「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について」ご説明いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、教育委員会では毎年、前年度の教育行政事務の管理・執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することとなっております。

この規定は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たし、教育委員会の責任体制の明確化を図るために設けられたもので、本市では、平成20年度より実施しております。

船橋市教育委員会では、平成22年2月に新しい教育振興基本計画である「船橋の教育」を策定

し、事業を展開していることから、昨年度から点検評価はこの計画の進行管理を行う位置づけとして実施しております。

また、点検評価を行うに当たり知見をいただく学識経験者につきましては、今年度から新たに千葉県教育振興財団理事長渡邊清秋氏、元船橋市建築部長中山君雄氏、前船橋市社会教育委員長藤田静江氏の3名の方をお願いしております。

では、報告書の内容について簡単にご説明いたします。

別冊の「平成24年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告書」をご覧くださいと思います。

報告書のスタイルは昨年と同様の組み立てとしております。また、昨年ご指摘いただいた部分については、並び順であるとか、見やすさであるとかの部分は変更いたしてございます。

具体的に、まず1ページですけれども、1ページ目には教育委員会の事務の点検評価の趣旨、点検評価の実施方法等を掲載してございます。

また、2ページから7ページには教育委員会及び教育委員の皆様の活動状況を、それから、8ページには昨年策定いたしました「船橋の教育」の体系図を、9ページから48ページに各課で自己評価した主要事業を「船橋の教育」の推進目標別に掲載しております。

また、49ページから53ページには、今回お願いいたしましたが、学識経験者の方々からの意見を掲載してございます。

54ページ、55ページには点検評価の総括を、56ページ、57ページには教育関係予算の概要を掲載しております。

なお、この報告書につきましては、ご承認いただければ、9月の市議会定例会に提出した後、ホームページ等で公表する予定でございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

【委員長】

ありがとうございます。

ただいま説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【石坂委員】

15ページの主要事業のところですが、家庭教育推進協議会の評価が、この報告書の中で唯一Cだと思います。このページの一番下に、既存の家庭教育セミナー事業を基本にと書いてありますけれども、これだけでいいのでしょうか。もう少し具体的に対策を考えていかないと、来年もまたC評価になる恐れがあると思いますので、このことについてより詳しく伺いたいと思います。

【社会教育課長】

ご指摘の家庭教育推進協議会につきましては、当初、地域の中でさまざまな団体の方たちが集まって協議会を開催して、その地域の中で家庭教育支援の体制をつくろうということで考えておりました。その中で、例えば、講演会をやったり、ボランティアの方の養成といった事業を計画してお

りまして、そういう形で政策として予算を要求させていただいたんですが、財政当局と企画当局と話していく中では、他の団体や子育て支援部でも同様のことをはじめているというところで、そことの連携が図られていないのではないかということで、その予算については見送られたということがございます。

地域の中でそういったさまざまな団体の活動を、協議会をつくって家庭教育を支援していくということであれば、各所管課ともっと連携を図っていかないと、ただ単に団体、協議会だけをつくるだけで終わってしまうというご指摘がありましたので、そういったところで、23年度は見送らせていただきました。

その中で、ただ見送っただけではなくて、今後、モデル的に推進していこうということで家庭教育セミナーの中でもう少し発展するような、地域の中で協議会的なものを立ち上げるなり、ボランティアとして発展させるなりという方向性を出していき、モデル的にやってもらえないかということで、公民館2館に協力をお願いしています。

そこら辺の実績が中途になっていまして、まだちょっと手探りな状況なので、24年度、今年度も引き続き地域の中でそういうボランティアとか支援チームとか、家庭教育に携わる人たちの集まりがもっと確立的に他の部局と連携してできるかどうかというのを今図っている最中です。

ということで、来年度もこの今の状況でいくとまだまだ連携が図られていないということで、予算を要求しても難しいかなと思っていますので、もう少し形を変えて研究していきたいと今進めているところでございます。

【石坂委員】

私も家庭教育というものには、ずっとPTAで関わってきたのですが、こうしたらいいとか具体的なものがなくて、難しいことだと思うんです。連携というのはすごく大事だと思うんですけども、既存の家庭教育セミナー自体もちょっと時代には合っていないと感ずるので、抜本的にぐっとみんなを引きつけられるようなことができればいいなと思います。いじめとかそういう問題なんかも家庭環境とか親子関係とかそういうのも、小さいころからのものが関係あると思うので、そこが大事なところなんですけれども、これといった事業がないので、私もこの教育委員をやっている間に何かお手伝いできたらと思っています。

【委員長】

ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

【山本委員】

今、教育委員会が矢面に立たされているのは、やはり、いじめ問題だと思うんです。23ページのところで、いじめの対応に関してはB評価ですね。学校としてのその根本的な教育としては、20ページの道徳的実践力の向上と規範意識の向上とか、こういうところが関連した事項だと思うんですけども、これもB評価となっております。これらがA評価にならない理由はどこら辺にある

んでしょうか。

【指導課長】

現在、船橋市の教職員は世代交代期に入っておりまして、毎年120名前後新しい教員が入ってきて、研修が非常に必要な時期に入っております。そういった意味で、まだまだ勉強していかなければならない部分は多々ありまして、なかなか100%というところには至らないのが正直なところであると考えております。

【山本委員】

100%にならなくても、80%以上がA評価なんですね。だから、実際問題やっているということであればA評価にしてもいいのかなとも思います。

【指導課長】

指導課、教育委員会としては、通知あるいは訪問等を通して繰り返し指導しているところで、私どもからすれば、A評価としての取り組みはしているかなというふうに思います。ただ、いじめ調査等の状況を見ますと、まだまだいじめの調査報告数は多いわけで、そういった状況を見ますと、まだ足りない部分もあるというところを踏まえてB評価にさせていただいております。

【山本委員】

あと、教育委員会、学校で問題なのは先生方の禁煙の問題なんですけれども、これはどこにも書いていないみたいなんですけど、実際、取り組んでできていますよね。

【保健体育課長】

禁煙の問題につきましては、受動喫煙防止対策ということになるかと思いますが、点検評価シートの中の主な事業という中には入ってございません。ですので、前回の教育委員会会議でお話をいただいたような形で、担当課としてもこれから取り組みを考えております。

【山本委員】

これは次年度のことという意味ですか。

【保健体育課長】

取り組みといたしましては、前回の議論を受けまして、今、予定としましては、それぞれの小学校、中学校、校長会の9月頭の研修会で取りまとめをして、こちらに報告があると、それを受けましてこの会議で報告したいと考えております。

【委員長】

24年度の事業点検のときにはそのご報告が入る可能性があるんですか。ないんですか。

【保健体育課長】

主な事業の取り組みの中には入らないものと考えます。

【委員長】

重要な取り組みというふうに山本委員はご指摘されているところもあると思うんです。

【教育総務課長】

重要な取り組みではあるとは思いますが、この点検評価自体が「船橋の教育」の基本方針、推進目標、掲げられた施策に沿ったものですので、施策の中に具体的にその禁煙に対する取り組み、受動喫煙の防止といった項目がないものですから、載せてなかったものでございます。

【委員長】

はい、わかりました。

ほかにはいかがでしょうか。

私もいつも思うんですけれども、事業別の予算額がゼロのものに対してのA評価についてで、例えば、15ページで石坂委員が指摘された家庭教育推進協議会と子育て支援事業の充実という2本があるんですけれども、両方とも予算はゼロで、上はCで、子育て支援事業の充実はAと評価されていますよね。

特に家庭教育推進協議会などは事業予算をつけてさらに推進していこうという方向で考えていたけれども、それは実現しなかったんで、別な方向でというご説明があったかと思うんですけれども、子育て支援事業の充実についても予算はついていなくてA評価になっているというあたりのところはどういうふうに読み取ったらいいのかと思ったところがあります。同じように予算がついていないけれどもAになっているところもいくつかあります。このあたりについてご説明いただくと助かります。

【社会教育課長】

今ご指摘があったように、家庭教育推進協議会については、予算要求したけれどもゼロ査定だったということでゼロです。

子育て支援事業につきましては、こちらについては、公民館の主催事業ということで、公民館でかなりの事業数をこなしているということで、実際には公民館の予算を使ってその報償費とか年間の予算の中で各種事業を展開しているんですが、それが子育て支援事業に対してはどのぐらいの予算を使ったかというのが全体の枠の中でちょっと把握するのはなかなか難しいということでここをのせていなかったんです。

ゼロということでは本来ないので、ここの表記の仕方、また来年以降検討させていただきたいと思います。間違いなくゼロではございません。幾らか公民館の予算の中で支出させていただいています。

【委員長】

事業を分けて展開している。

【社会教育課長】

そのとおりでございます。

【委員長】

それに対して評価をAとしたということですね。

【社会教育課長】

はい、そうですね。かなりの数、公民館では子育て支援事業を実施しておりますので、そういったところで評価をAとさせていただいたというところがございます。

【委員長】

今のも一つの例だと思うんですが、25ページの子どもの読書の推進状況に関わる調査に関しても同じように推進計画がA評価になっていて、予算はゼロになっているんですけども、これだと、例えばどういうふうに説明できますか。

【社会教育課長】

こちらについては、それぞれ、例えば、図書館だけの事業だけではなくて、学校図書室であったり、家庭であったりというそういったところでの読書活動の推進をお願いしています。

例えば、ブックスタート事業であれば、健康増進課で行っている事業ですので、そちらのほうで予算を取ってやっていることなので、予算はゼロと入れていないことになります。この表記の仕方も先ほどと同じように他部署で行っている事業とか、他課で行っている事業がございますので、把握し切れなかったというところでゼロというふうにしているんですが、実際は幾らかでも予算は使わせていただいているというところがございますので、こちらの表記の仕方も少し検討しなければいけないというように思います。実際には事業をやっています。

【委員長】

わかりました。

【石坂委員】

18ページの主要事業の小中一貫英語教育の推進ですが、下のところの施策における総合評価からしてAに値しないんですか。

【指導課長】

小学校の英語教育については充実してきているところがございますが、中学校の英語教育については、新しい学習指導要領が全面実施になったことにより、全国と同じ授業時数に変わり、新しい船橋の取り組み状況を今模索しているところ、研究しているところがございますので、小中合わせればAということにはならないだろうというところがございます。

【委員長】

小中一貫英語教育の推進という点では、まだAとまでは言い切れないということですね。

【指導課長】

そうでございます。

【石坂委員】

私は、これについてはAでいいと思います。小中一貫英語教育の推進というのは、つなぎの面を重視していなかったんですかね。これだけ予算をつけてやっていますし、自信を持ってAでいいんではないかと思います。

【指導課長】

高い評価をありがとうございます。ただ、小学校6年間取り組みをした子たちが来年中学校に入っていくこととなりますが、まだ小中の接続の部分で6年間の取り組みを中学校の英語教育、いわゆるコミュニケーション能力の育成という観点からどう授業に生かしていくかということについては、まだまだ研究が必要であろうというふうに考えております。

【委員長】

ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょう。よろしいですか。

【山本委員】

この点検評価シートじゃなくて学識者の意見ということで、49ページの渡邊さんの学校教育部のところで、体罰と個人情報漏えいについて、「他人事」のように聞いている傾向が強いというようなコメントを述べられているんですけども、これに関してちょっと言わせていただければ、個人情報漏えいは、これはもう客観的な事実ですけども、やはり、体罰というのはそれこそピンからキリまであって、熱血指導というような先生もいるし、例えば、オリンピックでメダルをとった選手の指導者は恐らく体罰みたいなことを相当選手にやっていると思うんですけども、美談として取り上げられていたりする傾向もありますし、こういう体罰というものに関しては、やはり、個人情報漏えいと一緒を考えるのではなくて個々の案件を勘案しながら、検証しながら論じないとだめなんじゃないかなと私はこのコメントを見て感じました。これに対してはちょっと違和感を覚えました。

【委員長】

このご発言は、教職員の中の不祥事に関して幾ら研修会をやっても人ごととしてとらえていたんではなかなか決定的な防止策につながらないということです。

【教育長】

この渡邊先生なんですけれども、前職で千葉県教育委員会の教職員課長等を歴任しているんです。この発言からは、千葉県全体でみると、指導しても不祥事が出てくるというような体験がかなりにじみ出ているように感じました。謙虚に受けとめなければいけないと思います。

【篠田委員】

49ページ、学識経験者の意見のところの一番下、いじめに対する取り組みについては、アンケートを実施するなど早期発見に取り組んでいることは評価できるというふうに書いてあるんですけれども、いじめに対する取り組みというのは、今は評価できていても突如としてあらわれることがあるので、先生方にも絶対ここだけは油断しないようにしていただきたいと思います。

悪い子が急によくなっちゃったという場合もあるんでしょうけれども、ひょんなことがきっかけで本当におとなしくて、まるでそんなことをしそうな子が急に非行へ走ってしまったり、ある日突然というようなことであると思うんです。

ですから、取り組んでいることは評価できるんですけれども、必ず油断をしないように、ぜひ、その辺だけは先生方、それから保護者の方にもそういう気持ちで取り組んでもらいたいと思います。

【委員長】

よろしいでしょうか。

その点に関しては、53ページからの委員の意見、皆さんの意見の中にもありますね。

それでは、この件に関しましてご意見、ご質問、よろしいですか。

ありがとうございます。

議案第47号「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について」を採決いたしましたと思います。ご異議ございませんでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

では、異議なしと認めます。議案第47号については、原案どおり可決いたしました。

来年の評価のときに見直すべき点というのは、それぞれ意識していただくということをお願いしたいと思います。

続きまして、議案第48号について、施設課、説明願います。

議案第48号「船橋市立船橋小学校・船橋放課後ルーム改築工事請負契約の締結について」は、施設課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

続きまして、議案第49号、同じく施設課、説明願います。

議案第49号「船橋市立三咲小学校校舎増築工事請負契約の締結について」は、施設課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

では、異議なしと認めます。議案第49号については原案どおり可決いたしました。

続きまして、議案第50号について、社会教育課、ご説明願います。

議案第50号「船橋市西図書館整備基金条例について」は、社会教育課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

議案第51号について、こちらも社会教育課、説明願います。

議案第51号「平成24年度船橋市一般会計補正予算（教育に関する事務に係る部分）について」は、社会教育課長及び中央図書館長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

それでは、報告事項に移ります。

報告事項（1）です。学務課、お願いします。

【学務課長】

市立船橋高校の平成24年度全国高等学校総合体育大会等の結果につきましてご報告いたします。本日お配りしました資料をご覧ください。

まず、全国高等学校総合体育大会の結果ですが、今年は新潟、富山、石川、福井、長野県の北信越地方の5県で7月28日から8月20日までの間で開催されました。

今年度は陸上競技部、体操競技部、それから男子バスケットボール部、女子バレーボール部、水泳部の総勢70名が出場いたしました。

競技の結果、詳細につきましては、そこに書いてあるとおりでございます。

その中で、体操競技ですが、全国高等学校総合体育大会は惜しくも準優勝という結果でございましたが、8月15日から行われました全日本ジュニア体操競技選手権大会の団体では、昨年に引き続き優勝を果たし、個人でも野々村晃司君、野々村兄弟の弟のほうになりますが、2位、早坂尚人君が3位に入りました。

それから、次に商業科の、これはスポーツではないんですが、商業科の3名が7月31日に東京都立大田桜台高等学校で行われた第59回全国高等学校珠算・電卓競技大会に出場し、そのうち3年生の長谷川勇太君が個人総合競技で2等、伝票算で2等、応用計算で3等という成績をおさめております。長谷川君については3年連続で全国大会に出場しております。

それから、その他、卒業生の報告になりますが、先日閉幕いたしましたロンドンオリンピックにオープンウォータースイミングという競技がございまして、これはロンドンの湖、ハイドパークという公園にある湖で、この競技は自然の川や湖で10キロメートルを泳ぐという非常にワイルドなスポーツでございます。

これに水泳部OBで現在明治大学4年生の平井康翔選手が日本人として初めて出場を果たしました。結果は25名中15位という成績で健闘いたしました。

以上、市立船橋高等学校からの報告でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

高校生、卒業生、大活躍ですけれども、何かご質問等、ございますか。

よろしいでしょうか。

では、高校生の活躍に次いで、報告事項（2）中学生の活躍についてです。保健体育課、報告願います。

【保健体育課長】

報告事項（2）、市・県・関東中学校体育大会の結果報告についてでございます。

資料3ページから19ページまででございます。

まず、市の大会でございますが、7月21日から7月24日まで行われました。天候にも恵まれて、予備日を使うことなく無事に大会を終えることができました。

また、熱中症対策につきましても、各専門部、対応を考えておりましたけれども、比較的気温も低く、熱中症は発生いたしませんでした。

市の大会成績につきましては、3ページから8ページに一覧がございます。ご覧ください。

大会期間中、教育委員長をはじめ教育委員の皆様にお忙しい中、応援を賜りましたことを改めましてお礼申し上げます。

次に、県大会についてです。県大会も7月26日より県内各会場で行われました。

団体の成績については、9ページをご覧ください。上から、野球で八木が谷中学校が3位に入賞しております。また、バレーボール女子では、行田中学校と大穴中学校がともに3位に入賞し、関東大会に出場、それから、バスケットボールの女子では、船橋中学校が3位に入賞しております。

柔道男子では、船橋中学校が3位に入賞し、関東大会出場でございます。サッカーでは、八木が谷中学校が優勝し、関東大会に出場、ソフトボール女子でも八木が谷中学校が優勝し、関東大会に出場をします。相撲では、高根台中学校、宮本中学校がともに3位に入賞し、関東大会出場を果たしております。

以上のように、団体では八木が谷中学校の活躍が目立ったところでございます。

次に、個人は10ページから16ページに載せてあります。

陸上、水泳、柔道、剣道、体操で上位入賞を果たして関東大会や全国大会への出場を決めております。

次に、関東大会ですけれども、団体は17ページに記載してございます。

まず、サッカーで、八木が谷中学校が関東大会で5位に入り、サッカーとしては船橋市で29年ぶりに全国大会出場を決めました。

続いて、18ページ、個人ですけれども、陸上競技では1年男子100メートル、男子共通砲丸投げ、柔道男子では73キログラム級で優勝を果たしております。

続いて、全国大会の出場一覧については、19ページに記載しているとおりでございます。

開催日程は8月17日から24日まで、まさに今やっているところでございます。東京、千葉、埼玉、茨城など関東地域で行われております。本市船橋アリーナにおきましても、20日から23日までバドミントン競技が行われております。

全国大会の結果につきましては、すべて終了後報告をさせていただきますが、八木が谷中学校のサッカーにつきましては、1回戦、2回戦と勝ち進みまして、昨日3回戦で敗れたものの全国でベスト8という成績でございました。

また、きょうの新聞にも出ておりましたけれども、情報が入りまして、陸上競技個人男子では、飯山満中学校の田村勇太君が共通砲丸投げで6位に入賞いたしました。さらに、一番下ですけれども、体操の男子、法田中学校の谷川翔君は個人総合第2位という成績でございました。また、女子、高根台中学校の坂本実優さんは同じく個人総合第4位という報告がありました。

多くの方々の応援、本当にありがとうございました。以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

中学生の活躍についてご報告いただきましたが、全国大会は並行して進んでいるということです。よろしいですか。

総体は1日目、2日目、気温がそれほど高くならなかったのも、本当によかったと思います。態勢も万全で、皆さん、力を入れてくださったので、いい大会になったんじゃないかなと思います。

よろしいでしょうか。

では、報告事項(3)に移りたいと思います。中央図書館長、報告をお願いできますか。

【中央図書館長】

中央図書館の大規模修繕工事についてご報告いたします。

現在、中央図書館がごぞいます複合施設、ライブ2000でございますけれども、建築後12年が経過し、経年劣化に対応した外壁塗装ですとか屋上防水等の大規模修繕を行うこととなりましたので、その概要についてご説明いたします。

この複合施設ライブ2000、地上14階地下2階建てで、そのうち中央図書館が2階、3階及び地下1階の駐車場の一部を使用しているところでございます。

このたびの大規模修繕工事は、区分所有法に基づきます全体管理組合、住宅管理組合、業務管理組合がつけられておりますので、これら管理組合が発注者となつて行うもので、工事期間は今年の9月3日から来年3月末までを予定してございます。

なお、地下駐車場工事につきましては、9月24日から10月7日までの2週間となつております。

工事概要は23ページ以降の別添資料のとおりでございますけれども、特に資料の27ページをご覧くださいと思います。

総合仮設計画図がございますけれども、こちらの平面図にございますように、周囲を足場工で覆つてまいります。そのため、平面図の右下部分に駐車場と小さく書いてございます。隣接建物との間の濃い部分ですけれども、こちらの駐車場がこの工事期間中使えなくなるということが生じてまいります。

また、一番最後の31ページに地下駐車場の塗床工事スケジュール表が載つてございますけれども、9月24日から10月7日までの2週間、塗床工事を行いますけれども、こちらの工事につきましては、9月24日から10月1日までの前半部分は図書館が特別図書整理として休館となつておりますので、実質は10月2日から7日までの6日間、こちらが駐車場が使用できない期間となつております。

なお、この工事に当たりましては、特に防音・振動対策としまして、足場を固定するために壁面にボルトを打ち込むという工事がございます。この工事に当たりましては、振動とか騒音の出ないドリルを使用するというのを業者さんから承つておりますので、図書館としてもこの工法で了解したところでございます。

なお、周囲の方への周知につきましては、9月1日の広報ふなばし及び図書館のホームページ、各図書館館内、あるいは公民館図書室内の掲示によりまして周知してまいりたいと思います。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

資料をご覧ください、何かご質問等ございますでしょうか。

いろんなことを配慮しながらやらないといけないので、修繕についてはなかなか難しいですね。

よろしいですか。

ありがとうございます。

それでは、報告事項（４）に移ります。青少年課、お願いします。

【青少年課長】

青少年キャンプ事業の報告をさせていただきます。

資料につきましては、33ページになります。

7月27日、金曜日から29日、日曜日までの2泊3日の日程で青少年キャンプを実施いたしました。

今回のキャンプ地は富士五湖の一つである西湖があります山梨県南都留郡富士河口湖町にあります浜の家キャンプ場において実施いたしました。

参加した児童・生徒は、船橋との環境の違いに驚き、学年の異なる子どもたちがこの大自然の中で生活していくためにはお互いを理解し、協力し、助け合わなければこの集団生活はできないことなど日常生活では味わうことのできない貴重な体験をしたものと思っております。

3日間でありましたが、天候にも恵まれ、西湖での水遊び、足和田山への登山、キャンプファイヤー、みんなで協力してつくったカレーライスづくり等々プログラムも順調に消化し、大きな事故もなく子どもたちは新たな仲間をつくり、友人をつくり、元気に帰ってまいりました。

私どもとしては、最後に、今回のこのキャンプでの経験を今後の学校生活や家庭生活に生かしていただきたいと願っております。

青少年課としては、以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

小学4年生から中学3年生まで98名という大きなグループでキャンプをしてきたということです。

このプログラムって、フォローアップというか、帰ってきた後、参加者で何か振り返りとかそういうのはありましたでしょうか。

【青少年課長】

これにつきましては、自分たちの感想文等を今集めていますので、それを冊子にさせていただきます。それと今月末に写真展を開きまして、その写真をもらっていただくというような活動もしております。

【委員長】

先ほどお話があった異学年で一緒に何かに取り組んで新しいつながりをつくるというのはとても貴重な体験だろうと思いますので、しっかりそれが体験化されていくように、あとのフォローが進んでいくといいなと思います。

よろしいですか。

それでは、財務課から報告があるとのことですので、報告事項（５）その他といたしまして、財務課お願いできますか。

【財務課長】

平成24年度9月補正予算のうち総務費で計上した災害対策にかかわる事業について、学校・教育施設に係る部分がございますので、ご説明いたします。

先ほど議案第51号で説明した平成24年度船橋市補正予算書をご覧ください。本冊の44ページでございます。

歳入は中ほどの65款15項10目総務費県補助金、「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金1億円を活用いたします。

次に、同じく本冊の46ページをご覧ください。

歳出は中ほどの15款10項65目防災対策費、1億6,279万8,000円。内訳として、防災推進費1億2,891万円、防災無線整備費3,388万8,000円を予算計上いたしました。

内容は大きく4点ございます。

1点目は、学校・社会教育施設の受水槽を災害時に活用するため、給水栓を設置するものでございます。小・中・特別支援学校、市立高校、公民館等に94カ所設置いたします。

2点目は、災害時用の備蓄品を公民館等33カ所へ整備いたします。備蓄品は毛布、カセットボンベ式発電機、簡易トイレ、保存飲料水、食料等でございます。

3点目は、災害時の通信連絡体制を確保するため、小・中・特別支援学校、市立高校、公民館等に防災MCA無線、PHS電話を配備いたします。

4点目は、小・中・特別支援学校、公民館等に避難所・避難場所の看板等を設置いたします。また、海に近い小・中学校5校、南部清掃工場及び船橋市と協定を結んだ施設に津波一時避難施設看板等を設置いたします。

いずれも東日本大震災の教訓を踏まえ、災害に強いまちづくりを推進するための事業でございます。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま説明がありました内容につきまして、ご質問等ございますか。

しっかりと防災対策をやってほしいと思います。

よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、その他でほかにございますでしょうか。

【文化課長】

各委員のお机の上にふなばしの大神宮展のチラシを配付させていただきました。5月の会議のときに簡単にお知らせはしたんですが、時期も間近になりまして、改めてご案内させていただきます。

8月15日号の広報ふなばしで掲載したんですけれども、9月9日の講演会は掲載後3日で250名の定員がいっぱいになりました。それで、予想以上に市民の皆様の関心の高さにちょっと驚いているんですが、現在は展示に向けてしっかりと準備を進めているところです。

委員の皆様、お忙しいとは存じますけれども、ぜひ、ご覧いただけたらと思います。講演会につきましても、お時間がございましたら、お席を調整いたしますので、文化課までご連絡いただければと思います。

以上です。

【委員長】

ありがとうございます。

さすが、ふなばし大神宮ですね。関心が高いんですね。

ありがとうございます。ご質問等ございますか。よろしいですか。

それでは、施設課長、先ほどの質問に対する回答ということでお願いいたします。

【施設課長】

先ほど篠田委員からのご質問で、設計ベースですが、建築単価は平方メートル当たり30万円、船小も三咲小も約30万円ということです。

【篠田委員】

ありがとうございます。

【委員長】

よろしいですか。

ほかにその他でございませうか。

よろしいでしょうか。

では、私から、平成24年度船橋市青少年海外派遣支援事業参加者の高校生たちからオーストラリアとシンガポールに行ってきたということで報告を受けました。若い人たちが刺激を受けて国際的な感覚ですとか、ネットワークですとかをつくりながら前に向かっていこうという姿勢が伝わってきてとても頼もしかったですし、うれしく感じました。それを育てることが私たちの大事なテーマでもありますので、しっかりと機会を生かして育ててくれるんだなというのはうれしい報告として皆さんにもお伝えしたいと思います。

ほかにはよろしいでしょうか。

【石坂委員】

先ほどの総体等の報告がありましたけれども、私はサマーコンサートのほうに行ってきました。

私は合唱の日にしか行けなかったんですけども、ホールがすごくきれいになったので、本当に子どもたちの澄み切った声が一層際立って、すごくいい雰囲気でした。

文化ホールが改装されてすごくよくなったことももっとPRしていただいて皆さんに足をはこんでいただければいいなと思います。

【委員長】

ありがとうございます。

ほかにはよろしいですか。

それでは、本日予定しておりました議案等の審議は終了いたしました。

これで教育委員会会議8月定例会を閉会といたします。ありがとうございました。